

科目名	公害防止管理者Ⅰ			担当教員	伊藤 博実	常勤・非	非常勤	実務経験	有
対象学年	1	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	30		
学修内容	汚水処理特論について、公害防止管理者（水質4種）試験に準じた知識を取得する。								
到達目標	10月実施する公害防止管理者（水質4種）試験に合格することを目指す。								
授業の方法	「新・公害防止の技術と法規・技術偏」、 「公害防止管理者等国家試験正解とヒント」を使用して公害防止管理者（水質4種）試験の問題演習をこなしていく。								
成績の評価と基準	公害防止管理者（水質4種）試験結果と課題進捗状況、出席状況等を総合的に判断し評価する。								
授業計画	1.活性汚泥法 2.生物膜法 3.嫌気処理法 4.生物的硝化脱窒素法 5.リンの除去 6. その他の生物処理法 7.生物 処理装置の維持管理 8.試料採取 9.流量測定 10.分 析の基礎 11.測定 各論 12.過 去問演習								
使用教材等	新・公害防止の技術と法規・技術偏 一般社団法人産業環境管理協会 公害防止管理者等国家試験正解とヒント 一般社団法人産業環境管理協会								
履修上の留意点・他	特になし。								

科目名	労働安全衛生Ⅰ			担当教員	伊藤 博実	常勤・非	非常勤	実務経験	有
対象学年	1	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	30		
学修内容	各種作業主任者の技能講習で行われる作業環境の改善方法に関する知識と保護具に関する知識・技能を取得し、労働災害の防止に役立てるようにする。								
到達目標	各種作業主任者の技能講習で行われる終了試験に合格することを目指す。								
授業の方法	各種作業主任者で使用されるテキストを使用し、作業環境の改善方法に関する知識と保護具に関する知識を取得する。								
成績の評価と基準	課題進捗状況、出席状況等を総合的に判断し評価する。								
授業計画	1.労働衛生法について 2.ダイオキシン類について 3.酸素欠乏および硫化水素中毒の原因および防止対策 4.保護具（酸素欠乏作業で使用する呼吸用保護具等） 5.硫化水素濃度測定 作業環境の改善方法 衛生保護具 6.特定化学物質・四アルキル鉛等の 7.特定化学物質・四アルキル鉛等の労働								
使用教材等	酸素欠乏危険作業主任者テキスト 特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者テキスト			中央労働災害防止協会 中央労働災害防止協会					
履修上の留意点・他	特になし。								

科目名	労働安全衛生Ⅱ			担当教員	伊藤 博実	常勤・非	非常勤	実務経験	有	
対象学年	2	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科	コース	情報プロフェッショナルコース 環境マネジメントコース オフィスビジネスコース	履修時間	60			
学修内容	各種作業主任者の技能講習で行われる作業環境の改善方法に関する知識と保護具に関する知識・技能を取得し、労働災害の防止に役立てるようにする。									
到達目標	各種作業主任者の技能講習で行われる終了試験に合格することを目指す。									
授業の方法	各種作業主任者で使用されるテキストを使用し、作業環境の改善方法に関する知識と保護具に関する知識を取得する。									
成績の評価と基準	課題進捗状況、出席状況等を総合的に判断し評価する。									
授業計画	1.有機溶剤の作業環境の改善方法 2.有機溶剤の労働衛生保護具 3.石綿の作業環境の改善方法 4.石綿の労働衛生保護具 5.鉛の作業環境の改善方法 7.作業環境測定について 6.鉛の労働衛生保護具									
使用教材等	有機溶剤作業主任者テキスト 石綿作業主任者テキスト 作業主任者テキスト			中央労働災害防止協会 中央労働災害防止協会 中央労働災害防止協会					鉛	
履修上の留意点・他	特になし。									

科目名	電子回路			担当教員	榎園 克寿	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	30		
学修内容	電子回路の基礎知識（部品及びアナログ・デジタル回路）を習得する。								
到達目標	1.低周波及び高周波回路の動作が理解できる。 2.テスターによる測定ができる。								
授業の方法	（講義）教科書及び解説により、回路図上の各回路・各部品の動作を理解する。 （演習）半田ごてを使用し回路を製作する事により、部品の理解と実技を身に着ける。								
成績の評価と基準	期末試験、出席状況、実習状況及び成果物を総合的に判断して評価する。								
授業計画	1. 回路部品 回路部品・工具の種類や内容を理解する。 2. テスター制作 抵抗など部品の理解、半田づけ 3. テスター制作 抵抗など部品の理解、半田づけ 4. テスター制作 抵抗など部品の理解、半田づけ 5. テスター制作 抵抗など部品の理解、動作の確認 6. 直流回路 直流・交流の違い、電源回路、単位の理解 7. 交流回路 交流回路・部品・周波数・インダクタンス 8. ラジオ制作 使用部品・真空管、動作の理解 9. ラジオ制作 電源回路・平滑回路の理解 10. ラジオ制作 検波回路・低周波増幅回路の理解 11. ラジオ制作 高周波回路・変調方式・デジタル変換 12. ラジオ制作 動作チェック・測定器の使用 13. ラジオ制作 キットの復元、高圧・解放電圧の注意 14. 照明について 光の単位について 15. 期末考査 期末試験								
使用教材等	教科書：トコトンやさしい回路設計の本 （谷腰欣司著：日刊工業新聞社）(ISBN 978-4-526-06371-8 C3034)								
履修上の留意点・他	半田ごての使用は、監督者のもとで行う。								